

NO25 難問集 (古代～中世)

NO207 源平の争乱 2014 本 時期の判断を必要とする文章正誤問題

問1 下線部 a に関連して、源平の争乱について述べた文として正しいものを、次の(1)～(4)のうちから一つ選べ。

- (1) 崇徳上皇と白河上皇の政権をめぐる抗争は、武士の政界進出の契機となった。
- (2) 源平の争乱が終結したのち、院政を再開した後鳥羽上皇は鎌倉幕府との協力関係を重視した。
- (3) 源平の争乱を描いた『太平記』は琵琶法師によって語られ、人々に親しまれた。
- (4) 源頼朝は、平氏が西国へ敗走したのち、後白河法皇と交渉し、東国支配の権限を認められた。

正解→(4)。(1)の崇徳条項と白河上皇を選んだ生徒が多かった。後白河と白河の間違いですね。平安中期からの武士の争乱と関係者はしっかり覚えておきたい。

NO208 民衆の生活を詠んだ歌 2012 本

こうした国家体制のもと、民衆は厳しい税の取立てに苦しんだ。(c)次の史料は、そうした民衆の生活の様子を詠んだ歌である。

…… かまどには 火気(ほけ)吹き立てず 甑(こしき)(注1)には 蜘蛛(くも)の巣
かきて 飯炊(いいかし)くことも忘れて ぬえ鳥の のどよひ居るに(注2) いとのかきて
(注3) 短き物を端(はし)切ると 言へるがごとく しもと(注4)取る 五十戸良(さとおさ)
(注5)が声は 寝屋処(ねやど)まで 来立ち呼ばひぬ ……

(『万葉集』巻第5)

- (注1) 甑：米や豆などを蒸すための器。
- (注2) のどよひ居るに：細い力のない声を出していると。その前の「ぬえ鳥の」は「のどよひ居るに」にかかる枕詞。
- (注3) いとのかきて：とりわけ(注4) しもと：むち
- (注5) 五十戸良：里長

問 下線部(c)に関連して、この史料や、そこからうかがえることに関して述べた次の文 a～d について、正しいものの組合せを、下の①～④のうちから一つ選べ。

- a この歌は、山上憶良が作ったものである。
- b この歌は、東国の民衆が作ったものである。
- c この歌が作られたころの国司は、郡司や里長を通じて徴税を行っていた。
- d この歌が作られたころの国司は、在庁官人を通じて徴税を行っていた。

- ① a・c ② a・d ③ b・c ④ b・d

正解→①

NO209 瀬戸内地方 2017 本 やや難

原始・古代から近世の瀬戸内地方について述べた文として正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

- ① 縄文時代には、魚群を見張るために高地性集落がつけられた。
- ② 平安時代には、源経基が海賊を率いて反乱を起こした。
- ③ 室町時代には、主要な港で幕府や寺社などが津料を徴収した。
- ④ 江戸時代には、堤を築いて潮の干満を利用する揚浜の塩田が普及した。

正解→①魚群を見張るためが✕戦争に備えた逃げ城である。②源経基が✕藤原純友である。③正文、④揚浜が✕入浜である。

B T さんからの手紙

手紙なんて本当に久しぶり。こちらも今、春休み恒例の鉄道旅行中。今回のテーマは日本海に寄り添う旅。海が見える列車にたくさん乗ることが目的です。出発直前に届いた手紙も、車中で読ませてもらいました。

見聞を広めようと途中下車もしました。たとえば、尼子氏と毛利氏が領有を争った港町温泉津。朝鮮から伝わった新技術によって生産量が増大した【ウ】銀山の積出港で、船をつなぐために加工した岩も、世界遺産の一部だそうです。

舞鶴では、歴史観のために集められた(c)多くの写真を見せていただきました。満州生まれの祖母から、引揚げの時にここへ上陸したことは聞いていたけど、引揚げが10年以上も続いたことや、舞鶴と面する日本海では、船舶の往来が頻繁にあったことなどを知ることができました。

今、泊まっている【エ】では、港の近くの神社で、奉納された和船の模型や絵馬をたくさん見せていただきました。アメリカとの通商条約で開港された【エ】は、開催される前からにぎわっていたことを、はじめて知りました。

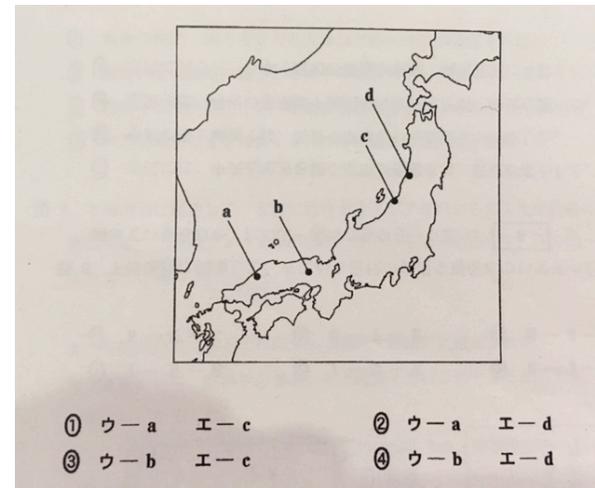
旅の途中でいろいろ調べられるので、スマホはやっぱり必携品。でも、最近 SNS でのやりとりでちょっと疲れていたのも、手紙っていいなと改めて思いました。(d)移動や情報伝達的手段は時代とともに変化

すると思っていたけど、長く続いているやり方には、それなりの良い所があるんですね。

問 空欄【ウ】【エ】と、それらの場所を示した次の地図上の位置 a～d との組合せとして正しいものを、下の①～④のうちから一つ選べ。

正解→石見銀山が何県にあるか？生徒にとっては意外に難しいのでは。島根県だから a ですね。アメリとの通商条約で開港した場所は新潟。c ですね。

正解→①



- ① ウー a エー c ② ウー a エー d
- ③ ウー b エー c ④ ウー b エー d

武器としての日本史

Pain is inevitable Suffering is optional

NO210 史料問題 2012 本

こうした国家体制のもと、民衆は厳しい税の取立てに苦しんだ。(c)次の史料は、そうした民衆の生活の様子を詠んだ歌である。

…… かまどには 火気(ほけ)吹き立てず 甑(こしき)(注1)には 蜘蛛(くも)の巣かきて 飯炊(いいかし)くことも忘れて ぬえ鳥の のどよひ居るに(注2) いとのきて(注3) 短き物を端(はし)切ると 言へるがごとく しもと(注4)取る 五十戸良(さとおさ)(注5)が声は 寝屋処(ねやど)まで 来立ち呼ばひぬ …… (『万葉集』巻第5)

(注1) 甑:米や豆などを蒸すための器。(注2) のどよひ居るに:細い力のない声を出している。その前の「ぬえ鳥の」は「のどよひ居るに」にかかる枕詞。

(注3) いとのきて:とりわけ(注4) しもと:むち(注5) 五十戸良:里長

問 下線部(c)に関連して、この史料や、そこからうかがえることに関して述べた次の文 a～d について、正しいものの組合せを、下の①～④のうちから一つ選べ。

- a この歌は、山上憶良が作ったものである。
- b この歌は、東国の民衆が作ったものである。
- c この歌が作られたころの国司は、郡司や里長を通じて徴税を行っていた。
- d この歌が作られたころの国司は、在庁官人を通じて徴税を行っていた。

- ① a・c ② a・d ③ b・c ④ b・d

正解→①

NO211 教科書掲載史料の問題

史料 興死して弟武立つ。自ら使持節都督倭・百濟・新羅・任那・加羅・秦韓・慕韓七国諸軍事(注1)安東大將軍 倭国王と称す。順帝の昇明二年(注2)、使を遣して上表(注3)をして曰く、「封国(注4)は偏遠にして、藩を外に 作す。昔より祖禰(注5)躬ら甲冑をつらぬき、山川を跋涉して寧処に違あらず(注6)。東は毛人(注7)を征する こと五十五国、西は衆夷(注8)を服すること六十六国、渡りて海北(注9)を平ぐること九十五国。……」

(注1) 使持節都督倭・百濟・新羅・任那・加羅・秦韓・慕韓七国諸軍事:倭以下の七国に対する中国式の軍事行政官の職名。百濟～慕韓は朝鮮半島南部の国名。

(注2) 昇明二年:中国の年号。478年。(注3) 上表:君主に文書を提出すること。

(注4) 封国:領域、自分の国。(注5) 祖禰:父祖とする説が有力。

(注6) 寧処に違あらず:一所に落ち着いている暇もない。(注7) 毛人:東国の人々か。

(注8) 衆夷:西国の人々か。(注9) 海北:朝鮮半島のことか。

問 下線部(b)に関連して、前ページの史料について述べた文として正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

- ① 武は父祖以来、朝鮮半島南部を武力制圧し、中国の支配をめざした。
- ② 武は朝鮮半島南部と同盟関係を結んで、中国を威嚇した。

③ 武は中国式の官職名を称して、中国からの独立を主張した。

④ 武は中国式の官職名を称して、朝鮮半島南部の支配権の承認を要請した。

正解→④

NO212 内容による正誤問題

問 下線部(d) [足利義満] に関して述べた文として誤っているものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

① 南朝の後亀山天皇から北朝の後小松天皇に譲位する形で、南北朝の合一を行った。

② 息子の基氏を鎌倉公方として、関東に派遣した。

③ 有力守護である山名氏清と大内義弘を滅ぼし、権力の集中をはかった。

④ 京都の室町に花の御所とよばれる邸宅を造営し、そこで政治を行った。

正解→②

この問題の正答率が低かったのは意外でした。②の誤りがわかればよいだけなのです。初代の鎌倉公方は足利基氏で、「足利尊氏の息子」です。おそらく、「初代鎌倉公方＝足利基氏」というのは暗記しているという受験生は多いでしょう。しかし、鎌倉府が南北朝の動乱の過程で成立したことを理解しておらず、教科書で普段から系図などを見ることもしていないのでしょう。やはり暗記知識だけではダメなことがわかるでしょう。また、③を誤文と判断した受験生が意外に多かったのですが、足利義満が明德の乱、応永の乱で守護の討伐をしたことは、センター試験では過去に何回も出題されています。やはり過去問演習が重要であることがわかります。

NO213 2文の正誤問題・内容判断

問1 下線部(a)に関連して、彼らの宗教活動と政治権力とのかわりに関して述べた次の文 X・Y について、その正誤の組合せとして正しいものを、下の①～④のうちから一つ選べ。

X 法然の弟子で、『撰択本願念仏集』を著した親鸞は、朝廷により配流された。

Y 南無阿弥陀仏の題目を唱えれば救われると説いた日蓮は、鎌倉幕府により迫害された。

① X 正 Y 正 ② X 正 Y 誤

③ X 誤 Y 正 ④ X 誤 Y 誤

正解→④

これは正答率が非常に低かった問題です。③の誤答が非常に多く、「題目」の意味を知らなかった受験生が多かったと思われます。鎌倉時代の「新仏教」の開祖とその教え、著作などを「用語レベル」では暗記している受験生が多かったのではないかと思います。つまり「日蓮一題目唱和」「法然一専修念仏」は覚えていても、「題目＝南無妙法蓮華経」と「念仏＝南無阿弥陀仏」までの知識がなかったということでしょうか。表などで鎌倉「新仏教」を整理して用語を暗記していても、浄土宗と日蓮宗を宗派として理解していなかったということでしょう。**センター試験は語句の暗記では高得点できません。**ちなみに教科書では本文中に書いてあります。

2018 本-14 中世の京都とその周辺

京都に関連して、中世の京都とその周辺について述べた文として正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

- ① 院政期には、仏教を厚く信仰する天皇らにより、法勝寺をはじめとする六勝寺が造営された。
- ② 鎌倉時代には、月行事を代表とする町組が形成された。
- ③ 室町時代には、京と鎌倉の往来がさかんとなり、『十六夜日記』などの紀行文が書かれた。
- ④ 戦国時代には、酒屋に対する課税が始まった。

正解→六勝寺の建立は白河天皇だから①が正しい。

2018 本-15 朝廷と鎌倉

朝廷と鎌倉との関係に関して述べた次の文Ⅰ～Ⅲについて、古いものから年代順に正しく配列したものを、下の①～⑥のうちから一つ選べ。

- Ⅰ 幕府は朝廷の監視などを目的に六波羅探題を設置した。承久の乱後のこと
- Ⅱ 幕府は皇位の継承について、両統迭立の方針を提案した。1317年
- Ⅲ 幕府からの求めにより、皇族がはじめて将軍となった。鎌倉、北条義時のとき。

正解→Ⅲ-Ⅰ-Ⅱ

2018 本-17 中世の都市

中世の都市に関して述べた次の文X・Yについて、その正誤の組合せとして正しいものを、下の①～④のうちから一つ選べ。

- X 瀬戸内では、鎌倉時代以降、兵庫などの港町は衰退していった。
 - Y 河内国の富田林などでは、浄土真宗の寺院や道場を中心に寺内町が形成された。
- ① X 正 Y 正 ② X 正 Y 誤
 - ③ X 誤 Y 正 ④ X 誤 Y 誤

正解→③ 衰退は応仁の乱後だから✕